

ありまふじ里山だより

Vol.16

『ありまふじ里山だより』では、棚田里山エリアの自然の様子や里山保全に向けた取り組みについてご紹介します。Vol.16は棚田里山エリアの紅葉の様子と、里守の会の活動の様子についてお届けします。



紅葉まっ盛り

有馬富士公園では、紅葉の最盛期を迎えています。有馬富士の山頂から麓にかけては、赤や黄、橙、緑など様々な色が散りばめられ、里山らしい秋の景色が広がっています。

かやぶき民家の軒先には今年も干し柿がお目見えし、秋の風情が感じられます。



里守の会、活動日！

11月になり、里山では足元に落ち葉の絨毯ができています。この季節にとっておきの作業が常緑樹へのマーキング。落葉樹と常緑樹の違いがわかりやすいこの時期に常緑樹にマーキングし、間伐していきます。適度に間伐することで、林内に日があたるようになり、豊かな里山に変わっていきます。

里山と田んぼの間には使われていない田んぼ、耕作放棄地があります。今は草やササが生い茂るここを手入れし、畑に生まれ変わらせるべく画策中！ということで、まずは草をかき分けつつ足を踏み入れ、現状を確かめました。

そんな田んぼのほりでは、スズサイコの種が種髪（綿毛）を広げ、今まさに空高く舞い上がろうとしています。

